

大倉沢左俣(下降)

1983年8月27日

稜線には踏跡があった。もうかなり昔に刈り払いされたとみえ、その後のブッシュの成長の程はかなりのものがある。20分程この踏跡を進み、次の小ピークに達してから、12:30下降を開始する。

20分程やぶの中を下った所で沢筋にたどりついた。ワラジをつけて下りはじめる。すぐに8mの滝が出てきた。右岸を捲いて下る。こちらには小滝が結構出てきて、楽しい下りとなった。1本支流を合わせた分の9m滝は蓋が大きく、胸までの激渉となった。あとの滝はほぼクライミングダウンする。

再び右手から支流を合わせた先で10m滝が2つ続く。最初のは流木を利用してクライミングダウンしたが、次のは下れない。結局ザイルを出して懸垂下降する。その先一部トイ状の流れとなる所もあったが、特に困難な所もなく、二俣に到着する。14時30分。

(記)

[タイム] 下降開始(12:30)→二俣(14:30)→下降終了(16:30)

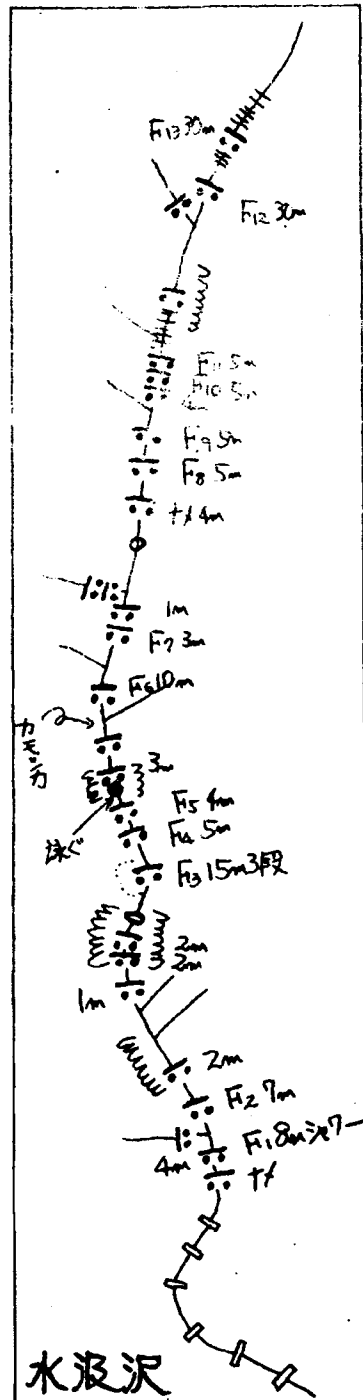
水汲沢 1983年8月28日

I

羊

水沼駅に車を置き出発。只見線の鉄橋下から6:50遡行開始。砂防ダムを6つ越えると小滝があり、すぐに8mのF1。最初からシャワークライムとなる。取り付きがやっかいだが、なんなく登る。すぐにF2。この「水汲沢」の名前の由来の滝。ここも直登。

しばらく進るとチョックストーン。ここは右を捲く。F3は三段の滝。あまりホールドがなく、木村さんが沢登りは初めてというので、左を捲く。結構キツイまきだった。



F4、F5を楽に登り、次の小滝に着く。ちょっと見た目には問題はないのだが、取り付けない! 仕方なく泳いで取り付く。F6 10mも直登。この手前で右側の岩壁にカモシカ発見。F7~10は5mクラスのナメ状の滝。当然ながら全部直登。休む暇もない。ウキウキ気分で遊ぶ。

F11からは規模の大きい滝となる。F11 40m。ホールドもしっかりしていて、行きずまっても逃げる所があるのを見て、直登する。F12 30m。これも直登。F13ナメ状で3段の滝。ここも直登する。

F13を登った所で時計とにらめっこ。もう10時。下降を考えて、ここで遊行を打ち切り、10:10 下降開始 計10回のアップザイレンで下る。

この沢は過去に幾パーティも入山している。結局F3を除いて全部直登! おもしろい沢でした。

(記・

【タイム】 遊行開始(6:50)→F13(10:10)

### 小根沢 1983年8月28日

L

結論から先にいうと、小根沢はF11 30mの滝を見たならば、そのままどってくるべき沢である。下手に沢をつめて尾根に出ると、ひどい藪こぎとなるので御用心。

会津水沼駅のすぐ下流の沢が小根沢である。7:00 F1到着。一枚岩の斜瀑である。このあと、結構滝が続き、変化がある。直登したり、捲いたりしながら進む。1時間でF11 30mまで来てしまう。

この滝は途中までは登れそうだが、上部がハングになっているため直登はできない。右側を捲くことになり、登り始める。右尾根に出るまで1時間かかった。沢登りに来たというより、ロッククライミングと藪こぎに来たといった方が正確。下がぐっと切れているので、スリルがある。

